

(特非) しゃぼん玉の会

Promising Future Project～後に続く世代が幸せになるようにSDGsを学ぶ子どもと若者のプロジェクト～事業

活動地域  埼玉県

ひろげる助成

3年目

実践

野外活動への
延べ参加者数

312人

SDGsミニ勉強会
参加者数

66人

今年度計画の達成度

62%

目標達成度

60%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

県外を予定していた環境ツアーは中止し、環境を学ぶワークショップは県境を跨がず、県内での活動を余儀なくされ、計画をほぼ全面的に見直して実施することになった。

■ 工夫した点

これまで足を運ぶことがなかった、県南・県東部地区での環境に関わる施設や自然観察公園を探したり、県西部のハイキングコースのほぼ全コースを下見のために歩いた。



観察園で環境オリエンテーリングをする親子

課題

埼玉県桶川市・北本市などでは、環境への関心の高さに比べて、SDGsへの理解は不登校・引きこもりの子ども・若者をはじめ、小学生から大人に至るまで認知度はかなり低い。

目標

自然体験活動に取り組み、SDGsを学び、発信する活動を行うことで、不登校・引きこもりの子ども・若者や地域住民に、SDGsへの意識を向上させる仕組みを構築する。

活動内容と成果

この1年間新型コロナウイルスのため、多くのプログラムが中止・変更となる中、自然体験活動を78回実施し、312人の参加があり、楽しく学ぶ機会を持つことでSDGsへの関心が高まった。「あなたのアウトドアを教えてください」に写真を送ってくれた方42人、「ごみ調べとリサイクル」を学ぶ研究ノート15人、発達障害研修会111人(11回開催)、ミニ学習会66人(同20回)が参加された。SDGs新聞を毎月発行し、自分の取り組んでいる活動とSDGsの関連を主体的に考える機会を持つことで、環境やSDGsへの関心を高められた。



その迫力に圧倒された首都圏外郭放水路



親子で行った所沢航空発祥記念館(所沢)

全助成期間の活動を振り返って

幅広い年齢層の方に環境ワークショップ、環境ツアー、セミナー、研修会に参加していただき、SDGsを楽しく学ぶ機会を持つことができました。「SDGsと私」「169のターゲット」「ごみ調べとリサイクル」を学ぶ研究ノートなど、参加型の学びが参加者の意欲を呼び起こし、継続的な学びの礎になることも証明された。この3年間で、学校、行政、地域においてSDGsへの認知が広がった。今後もより質の高い学びが求められている。

〒363-0027
埼玉県桶川市川田谷5563-5
電話：090-1793-6665
E-mail：npo.shabondama@gmail.com
HP：http://npo-shabondama.pepper.jp



今後の
展望

「防災×環境」をテーマに活動したい。特に治水については、埼玉県防災センターなどの協力を得て、県内山間地の台風19号の実態調査と復旧の取組みを調査することから始めたい。並行して、河川改修など治水に取り組んだ、過去の埼玉県内外の事例を集め、可能な限り現地に足を運び、学びを深めていきたい。新型コロナウイルス次第ではあるが、ごみの処分地の現地調査、ごみに関する講演会も行政などと協議しながら進める。